

本学の新型コロナウイルス感染症対策

本学では、学生の皆さんの健康と安全を第一に考え、ホームページや光華ナビを通じて、新型コロナウイルス感染症への注意を呼びかけてきました。ここでは、感染対策として大切なことや本学の取り組みについてまとめています。

1. 日常生活での感染対策として大切なこと①～④
2. 体調不良時の対応
3. 共有する場所の清掃消毒
4. 本学の感染対策の取り組み



感染対策として大切なこと①

毎朝の検温と健康チェック

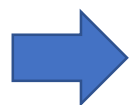


こんな時は…

風邪症状や発熱

倦怠感や息苦しさ

原因不明の味覚・嗅覚障害



登校を自粛！



●本学では光華ナビの「コロナ健康状況報告フォーム」を通じて、大学へ相談・連絡ができるようにしています。

フォームの場所：光華ナビ画面の右上「その他」

●入構時、検温と健康チェックを実施しており、体温37.5℃以上の発熱や咳などの症状がある場合は入構を認めないことがあります。



感染対策として大切なこと②

マスクの着用



大学構内ではマスクを着用してください。

普段から顔や目を手で触らないことが大切です。

自分が感染しない、他の人に感染させないように心がけましょう。



感染対策として大切なこと③

こまめな手洗い

石けんと流水で30秒以上

アルコール手指消毒の利用も



- ☑ 登校後
- ☑ 食事前
- ☑ 休み時間
- ☑ 共有しているものに触れた後
- ☑ トイレのあと
- ☑ 帰宅時 など

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約100万個
石けんで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぐ	1回	約0.01%（数百個）
	2回繰り返す	約0.0001%（数個）

森 功次他：感染症学雑誌、80:496-500.2006から作成

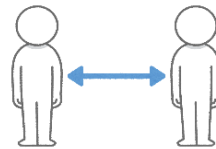


感染対策として大切なこと④

三密にならないように

- ☑ こまめな換気を行い、**密閉**をさける。
- ☑ 空間の中の人数を減らし、**密集**をさける
- ☑ 人との距離は2メートル空け、**密接**をさける。

(最低1メートル)



体調不良時の対応

- ☑ 体調不良時は登校自粛
- ☑ 発熱などで受診をする場合は、事前に医療機関に連絡する。
- ☑ 強いだるさ、息苦しさ、高熱がある場合、もしくは発熱や咳など

比較的軽い症状でも4日以上続く場合は必ず、新型コロナ受診相談センターに連絡する。

新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者センター

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-ikokusyasessyokusya.html

併せて、大学のコロナ健康状況報告フォームにも入力



共有場所の清掃・消毒

こんな場所の消毒を



- ☑ アルコール消毒液（70～80％）
- ☑ 次亜塩素酸ナトリウム（0.05％） キッチンハイター、台所用漂白剤
- ☑ アルキルアミンオキシド（0.05％以上） かんたんマジックリンなど



本学の感染対策の取り組み①（入構時健康チェック）

入構時の検温と三密の回避



入構時検温
ソーシャルディスタンスも守って

各校舎入り口に手指消毒薬設置
校舎に入るときはまず、手の消毒

エレベーター内の密を避ける



授業中の感染対策

講義室内の常時換気
授業座席配置工夫

（文部科学省衛生マニュアル基準）
フェイスシールドの活用



本学の感染対策の取り組み②（校内共有物の消毒）

毎朝、授業前後の消毒で接触感染の予防



校内の共有物、備品の消毒

つくえ、いす、
PCマウス、キーボード、
ドアノブ、スイッチ、蛇口
便座、ペーパーホルダーなど



本学の感染対策の取り組み③（各部署の様子）

各部署のカウンターに、飛沫予防のビニールや透明のアクリル板を設置



学生サポートセンター カウンター



学習ステーション
カウンター

発熱者の
一時、休養室の設置



学科コモンズ



本学の感染対策の取り組み④（校内の注意喚起ポスター）



エレベーター内の三密回避
（立ち位置）



感染対策の基本 手洗いの励行



トイレエアドライヤーの
使用停止

